

GEORGE STREET MINISTRY  
BY MR. FRANK JENNER  
(GENOR)

この話の発端は数年前にロンドンのクリスタル パレス バプテスト教会で始まりました。聖日礼拝が終わろうとしていた時、一人の男性が後ろの方の席から手を挙げて立ち上がり、言いました。「先生、すみませんが短い証しをさせて頂けませんか？」。牧師は腕時計を見ながら、「3分間だけ時間があります。」と言ったのを受けて、その男性は証を始めました。「私はこの地区にちょうど引っ越してきたところで以前はオーストラリアのシドニーに住んでいました。数か月前、親類たちの家を訪問し、ジョージ ストリートを歩いていました。ジョージ ストリートはご存知のようにシドニーのビジネス街からロックと呼ばれる植民地時代からある地区に行く（たくさんの人でにぎわう） 場所にあります。

その時、一見変わった白髪の小柄の男性が店先から出てきて私に一枚のトラクトを手渡し、こう言いました。『失礼ですが、あなたは救われていますか。もし今晚死んだらあなたは天国に行けますか？』。私は、これを聞いてびっくりしました。今まで誰もこのようなことを私に質問した人はいませんでしたから。私は丁寧に『ありがとう』と感謝しました。そしてロンドンの自宅に帰るまでずっとこのことが脳裏から離れませんでした。私はある友人に電話をしてジョージ ストリートで私が体験したことを話しました。神に感謝なことなのですが、彼はクリスチャンで、私をキリストの救いに導いてくれました。』。バプテスト教会の信徒はこのような証しを大切にします。礼拝に出席していた全員が拍手を送り、この男性はこの教会の交わりに歓迎されて加えられました。

その次の週にこのバプテスト教会の牧師はオーストラリアのアデレードに行き、10日後、アデレードのバプテスト教会で3日間の聖書講義をしていました。一人の女性がカウンセリングのためこの牧師のところにやって来ました。彼はこの女性がどのようにキリストを理解しているか知りたいと考え、彼女の証を聞きました。彼女は「私はシドニーに住んでいました。数か月前、数人の友人たちに会い、その後、ジョージ ストリートで最後の買い物をしていると、少し変わった、小柄な白髪の男性が店先から出てきて、私にトラクトを渡してくれました。そして、『失礼ですがご婦人、あなたは救われていますか。もし今晚死んだらあなたは天国に行けますか？』と言いました。このことばで私は動揺しました。

わたしがアデレードに帰った時、このバプテスト教会が1ブロック先にあるのを知っていたので、その牧師に相談しに行きました。そして、その牧師は私をキリストに導いてくれたのです。このようにして、私がクリスチャンになったことを今先生にお話しているのです。」。

このロンドンの牧師は非常に困惑しました。2週間に2回、彼は同じ証を聞いたのです。この後この牧師はパースにあるマウント プレザント教会で説教をするためアデレードから飛び立ちました。牧師は一連の説教が終わった時、その教会の執事が牧師を食事に連れて行きました。その時、牧師はその執事にどのように救われたのか尋ねました。彼は、「私は15才の時からこの教会で育ちました。しかし、イエス様に対する確信は与えられていませんでした。ほかの人と同様に、ただ時流に乗って飛び跳ねているだけでした。私は自分のビジネスの才能で、会社で影響力のある地位まで進みました。

そのような中、ちょうど3年前に私は出張で、シドニーに行きました。一人の不愉快な、意地悪そうな小柄な男性が店先から出てきて、私に基督教のトラクトを手渡しました。安っぽい、貧相なものでしたが、ずけずけと私に質問をしてきました。『失礼ですが、あなたは救われていますか。もし今晚死んだらあなたは天国に行けますか？』。私は彼に自分はバプテスト教会の執事だと言おうとしましたが、彼は私の言うことを聞こうともしないようでした。私は怒り心頭でシドニーからパースへの帰途につきました。私は牧師が私に同情してくれると思い、牧師にこのことを話しました。しかし牧師はトラクトを渡してくれた男性に同意して言いました。牧師は私がもう何年もイエス様との交わりを持っていないことを知っていて心配していたのです。あのトラクトを渡してくれた男性は正しかったのです。牧師は3年前に私をイエス様に導いてくれました。

このロンドンの牧師は自宅に帰り、すぐに湖水地方に行き、ケズウィックコンベンションで、これらの3人の同じ証を紹介しました。このコンベンションの最後に4人の初老の牧師たちがやって来て25年から30年前にジョージ ストリートでこの同じ男性が、同じトラクトを手渡し、同じ質問をして自分たちを救いに導いてくれたことを話してくれました。



その次の週、その牧師は宣教師へのケズウィック コンベンションでカリブ海に行きました。彼は同じ証をそこでも語りました。彼の講義の終わりに3人の宣教師が前にやって来て彼らも15年から25年前にこの同じ小柄な白髪の男性の証しと同じ質問によって救われたと話してくれました。

次にこの牧師はアトランタに移動し海軍の従軍牧師コンベンションで講話をしました。ここでは3日間に1000人を超える海軍の従軍牧師に講義をしました。その後、従軍牧師長が牧師を食事に誘いました。そこで牧師は従軍牧師長にどのようにしてクリスチャンになったのか尋ねました。従軍牧師は、「それは奇跡的でした。私は海軍の軍艦の水兵でしたが、墮落した人生を送っていました。われわれは南太平洋で訓練を実施していて、シドニーハーバーに補給のため停船しました。私は泥酔した拳句、間違った行先のバスに乗ってしまい、ジョージストリートで下車しました。

バスを降りているとあたかも幽霊を見た時のように男性が私の目に飛び出して来ました。そして私の手にトラクトを押し込んで、『水兵さん、あなたは救われていますか。もし今晚死んだらあなたは天国に行けますか？』と言ってきました。すぐに神への恐れが私を襲いました。私はショックで酔いから覚めてしまいました。そして、一目散に船に走って帰り、従軍牧師に相談に行きました。彼は私をキリストに導いてくれました。私は間もなく従軍牧師の指導により宣教に携わるための準備を始めました。私は今、霊の救いのために自分自身を捧げている1000人の従軍牧師の責任者です。

6か月後このロンドンの牧師は北東インドの町から更に離れたところで行われた5000人のインドの宣教師のための会議に出席しました。会議の終わりに宣教師のリーダーが自分の質素な家で簡単な食事をするため牧師を招きました。牧師はその時、どのようにしてヒンズーからキリストにたどり着いたのか尋ねました。彼は、「私は非常に由緒ある地位の家庭で育ちました。私はインドの外交官の代表団の一員として世界中を旅行しました。私はキリストが私の罪をご自身の血で贖ってくださったことを本当に喜んでいます。私は人々が、私がどんな人間であったか知ったらとても驚いたことでしょう。外交官として仕えていたある時、私はシドニーに行きました。

私は最後のショッピング、子どものおもちゃと服を買い込んでいました。私がジョージ ストリートを歩いていた時のことです。礼儀正しい白髪の小柄な男性が私の前に踏み出して来て、トラクトを渡してこう言いました。『失礼ですが、あなたは救われていますか。もし今晚死んだらあなたは天国に行けますか？』。私は彼に心から感謝しています。このことばは私の心を揺さぶりました。私は帰国後、私の町のヒンズーの聖職者に相談に行きました。彼は私の助けにはなりませんでしたが、私のどうしても知りたいという思いを汲んでくれて、この通りの先にあるミッションホームの宣教師に相談に行ってはどうかとアドバイスをしてくれました。それはよいアドバイスでした。

その日宣教師は私をキリストに導いてくれました。私はヒンズー教をすぐに離れ、宣教師になる準備を始めました。私は外交官の仕事からも離れ、そしてここに今私はいます。神の恵みにより、10万人の人々をキリストに導いたここに集うすべての宣教師の責任者に立てられています。」。

8か月後このロンドンの牧師はシドニーで説教をしていました。彼はそのバプテスト教会の牧師にトラクトをジョージ ストリートで配っている小柄で年輩の白髪の老人を知らないか尋ねました。彼は、「もちろん知っています。彼の名前はFrank Jennerです。しかし、お年を召して弱くなっているため、もうジョージ ストリートでの奉仕はやられてはいないと思います。」2日後、牧師たちは彼に会うために彼の小さなアパートを訪れました。彼らはドアをノックし、小柄な、ひ弱い老人が彼らを迎えました。この老人は彼らをソファーに座らせてお茶を出しました。彼は非常に弱っていて、手が震えてお茶を受け皿から溢していました。ロンドンの牧師はそこに座って彼自身がこの3年間に体験した全てのことを彼に話しました。

この小柄な老人は頬をつたって流れ出る涙を流しながら座って聞いていました。そして彼は自分のことを彼らに語りました。「私はオーストラリアの軍艦の水兵でした。私は墮落した人生を送っていました。ある危機が私を襲って来た時、私は本当に壁にぶち当たりました。私の同僚の一人が、そこにいましたが、私に起こっている地獄の体験を聞いて私に助けを与えてくれました。そして彼は私をイエス様に導いてくれました。私の人生の大きな転換はその24時間のうちに起こりました。私は私の人生を変えて下さった神様に心から感謝しています。



私は一日に少なくとも10人の人にイエス様の証をすることを神様に約束したのです。ある時は病気でこの奉仕ができないこともありました。しかし、できなかつた時は別に時間をつくってやりました。私は偏狭的ではありませんでしたが、これを40年以上やりました。私の引退の年まで、私は一日に何百人の人が通るのを見てジョージ ストリートがベストの場所だと思ったのです。たくさんの人から拒否もされましたが、たくさん的人是感謝をもってトラクトを受け取ってくれました。この40年このことを続けてきましたが、一度もイエス様に導かれた人のことは今日まで聞いたことはありませんでした。」

お分かりだと思いますが、この老人には神様との誓約があったのです。救いの感謝とイエス様の愛を示すため40年間これが続けてきたのです。その奉仕の収穫がどれほど大きなのもであったかも知らないでです。この小柄のバプテストの老人は多分147,000人の人々に証をしてきたと思います。

神様がこのロンドンのバプテストの牧師にお見せになったことは氷山のほんの、ほんの、ほんの一角に過ぎないと思います。ここに書かれている以外に何人の人たちが彼を通してキリストに捉えられたことでしょう。

Mr. Frank Jennerはその2週間後に亡くなりました。彼が天の永遠の住処に着いた時その報いがどんなであったか想像できるでしょうか。

彼の顔は基督教の雑誌には一度も現れたことはないでしょう。有名な基督教の雑誌や本にその写真や言葉が掲載されたことはないでしょう。シドニーの一部の人たちでMr. Jennerを知っている人以外は誰も知らないでしょう。彼の名前は天国では有名です。天国はMr. Jennerを知っています。彼が天に凱旋した時受けたその歓待がどんなに素晴らしいものか想像できるでしょうか。